

# 公開用

## 会議録（概要）

会議の名称	令和2年度 第6回佐渡市入浴施設あり方検討会
開催日時	令和3年2月16日（火）13:30～15:45
場所	佐渡市役所 会議室棟1階 第2会議室
会議内容	1 開会 2 議事 1) 統廃合する入浴施設の判断基準の検討について 2) 次回の検討会の日程 3) その他 検討会の公開に関して ① 今後の公開方針 ② 公開時の委員個人の実名表示について
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	非公開（個別施設の具体的検討にあたり、どこまでを公開するか検討する必要があるため）
出席者	《入浴施設あり方検討会委員》（6名） 《市役所》（2名） ・事務局 温泉施設係長 池 雅彦 温泉施設係主事 川上 一貴
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	—
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
委員	<b>1 開会</b> 前回まで、佐渡市の現状を踏まえた温泉施設の実態を聞いて、残す施設を選択する必要があるという結論が出た。 次の問題はどの程度入浴施設を残すか、という問題であり、議論には根拠や指標となるものが必要。資料に基づいて判断したい。 入浴施設を統廃合するにあたっての判断基準案を事務局から提示してもらった。この判断基準でいいのかどうか話し合いたい。 <b>2 議事</b>

## 公開用

事務局 委員 委員 委員	<p>1) 統廃合する入浴施設の判断基準の検討について (資料の説明)</p> <p>具体的にいくつぐらいの施設を統廃合したいのか。</p> <p>判断基準となる指標を以て施設数を決める。</p> <p>統廃合すべき施設数を提言するためにまず指標を決めるということ でよいか。</p> <p>そのとおり。</p>
委員 委員	<p>利用者目線と言えば湯上は泉質が良い。サウナもある。手を加えたら 利用しやすくなるのでは。松泉閣は市民が利用しやすい立地にある。 それらを踏まえて施設をどうしていくかを検討会全体で考える。</p>
委員	<p>仮に施設を残すなら、地域バランスから見ると南部と国仲地区の2 つのエリアと考えるが、羽茂のクアテルメ佐渡は集客が少ない。畑野 の松泉閣と佐和田のビューさわたの2つが妥当。新穂の湯上温泉は古 すぎる。また松泉閣は隣のサンスポーツランドと組み合わせて避難所 として使える。避難所に指定されると補助金が出るのか。</p>
事務局	<p>存続する施設がはっきりすれば、補助金という形か指定管理という 形か、いずれかで市が運営を支援することになると思われる。</p>
委員	<p>防災面から見ても松泉閣とビューさわたは高台に位置しており、存 続が妥当である。</p>
委員	<p>利用者数は重要な指標と考える。利用者数でみれば松泉閣。しかし 泉質なら新穂湯上温泉。いくつ残せばいいのかなかなか判断がつか ない。</p>
委員	<p>指標案に半径1km以内の地域の高齢化率があるが、例え高齢者の利 用が多くても入浴施設は高齢者施設ではない。高齢化率を判断材料に するのはおかしい。指標として不要。</p> <p>また、一般的に施設の修繕を行うと財産の効用が増加するが、修繕 料はプラスの資産として勘定科目に入っているのか？</p> <p>クアテルメ佐渡は比較的市の支出額が少ないように見えるがキャッ シュフローは出ているのか？地元への譲渡を検討できるのでは。</p> <p>新穂湯上温泉周辺は道の駅がなくなって、トイレの需要がある。一 概に廃止すべきと思えない。</p>
事務局	<p>(欠席の)委員のメール文が一部伏字になっているが、個別の施設 名称を出してほしい。</p> <p>高齢化率が指標にならないのは同意する。どの施設も年齢別の来場 者数のデータでは高齢の利用者の割合は大差が無い。これはでは指標 にならない。</p> <p>(欠席の)委員が個人的に活用可能性の高い施設を列举したもので、</p>

## 公開用

委員	<p>a=新穂潟上温泉、b=松泉閣、c=ビューさわたの順である。クアテルメ佐渡は利用者がほぼ限定されており NPO で運営するようなレベル。</p> <p>(欠席の) 委員は、床上浸水しても保険をかけていれば関係ないという意見だが、過去に被災した状況で新たに保険かけようとしても保険料が高つく。過去に被災した履歴を見れば、民間事業者は新穂潟上温泉を買わないだろう。</p> <p>また、運営経費の中に施設の減価償却費は含んでいるか。それとも資産として計上しているか。</p>
事務局	<p>市有施設なので減価償却費は運営経費に含んでいない。</p>
委員	<p>少額減価償却のように 1 回の決算で赤字計上しているのか？</p>
事務局	<p>単年度で完結という考え方からするとそのようになる。</p>
委員	<p>民間事業者の場合、施設の修繕によって施設の資産価値が上がるが、そうしていないなら修繕費を経費から除外すべき。</p>
委員	<p>指標案だけでは経営状況を把握できない。貸借対照表のようなぱっとわかるもので知りたい。指標案をざっと見た限り、市有入浴施設は半分の 2 施設で十分と思う。</p> <p>指標はどういう風にウェイト付けするか。</p>
委員	<p>実際に事務局は施設数をどのくらい減らそうと考えているのか。1 つだけ減らす方針でもいいのか。</p>
事務局	<p>指標を見る限りでは、利用とコストのバランスが一番釣り合っていないクアテルメ佐渡を減らすべきという考えになるが、クアテルメは市の支出額が少ないので、1 つだけ減らしても予算削減の効果が低すぎる。</p>
委員	<p>これまでの議論の中では、最終的に残す施設を 2 つにするか 3 つにするかという根拠づけが薄かった。もうそろそろ、施設をどれだけ絞るかという論点に進みたい。</p>
委員	<p>では市の予算を何割減らすために施設をいくつ削るかという議論でいいのか。1 施設を減らして、削減効果が不十分なら 2 施設減らすという考えか。</p>
委員	<p>委員それぞれがどう判定するか聞きたい。</p>
委員	<p>利用者数が指標として重要であり、高齢者単体の指標は不要というように、指標のウェイト付けが重要で、大事な指標とそうでない指標を整理し、ウェイトをつけないと点数化はできない。検討会で何の指標が大事かそうでないか議論をしないと指標も十分に使えない。一つ一つの指標を活用して次のステップの議論を進めたい。</p>
委員	<p>そのとおり。4 施設は財政的にひっ迫している。しかし健康のためには必要ならば、どこまでの支援が限度か。</p> <p>佐渡市の佐渡市の入浴施設の経営状態等が一目でわかるような施設別カルテが欲しい。施設別に丸裸にして分析が必要。指標のウェイト付けと、具体的に施設を残すのか、残さないのかという方針付け。そ</p>

## 公開用

のうえで残った施設をどう活用するのか。今日はウェイト付けをしつかりしていこう。

委員

ソフト指標1～8で一番何が重要なのか？核となる項目は何か。どの指標を重点的に推すか。

委員

予算をどれくらい削減したいか、何割減らしたいのかが見えない。単純に赤字が一番大きい施設を減らせば3割減らせるという論理でいいのか。減らすなら目標とする削減額をつけたい。仮に存続する施設が決まっても、将来その施設も収益が悪化すれば、もっと施設を減らす必要が出てくる。残す施設は魅力度を向上させる政策が必要。予算額をどのくらいに圧縮したいか事務局の考えはあるか。

事務局

担当の意見としては2/4にしたい。新穂潟上温泉のポテンシャルは高く多くの集客を見込めるが、ここ数年施設の不具合が多発しており、安定経営ができていない。市有温泉としては廃止を前提に別の用途での活用を考え、新穂潟上温泉は民間での運用を検討したい。トキ交流会館との連携も見込める。残す施設を2施設にした場合、利用者数の上位は松泉閣と新穂潟上温泉。だが一部の地域に配置が偏るためバランスが悪い。ならば残すのは松泉閣と新穂潟上温泉のどちらかになる。そうなった場合、国仲地域ではビューさわたが残る。現状でも施設が一つ休業していても他の施設が補完できるので、2施設を残す方針が妥当と考える。

委員

残す施設の扱いとは、「市が所有し、運営を民間に任せる施設」という認識で良いか。

事務局

そのとおり。

委員

承知した。残す2施設が両方とも直営となれば、公共施設の管理計画を全面的に見直すことになる。

委員

前述した委員の発言についてだが、減価償却処理は公共施設でも必要。最終的な決算書に乗っていないだけで行政も出してはいると思う。

委員

災害さえなければ潟上温泉は良い施設。民間譲渡するにあたり判断が分かれるところのほうが譲渡しやすいのでは。キャンプ需要など企業とのコラボも見込める。自由な使い方、可能性がある施設だと思う。だめだから廃止というよりは可能性があるところを民間に渡すのは良いと思う。単に廃止というよりは、見直して新しい活用の仕方の提示として出す。その分利用料は上がるかもしれないが、市民が利用しやすいように佐渡市が利用補助等を出せばよい。

委員

検討会の結論として公表するにあたり、論拠を示して説明したい。指標案の中で重要な項目は、①利用者数、⑤市民1人あたり負担額、⑦利用者一人あたりに支出される税金、⑧市の支出への依存割合が重要と思う。⑥1㎡あたり負担額は指標として微妙。

## 公開用

委員

指標はなぜそうなったかを説明して市民に理解してもらえるような見せ方が問題。もう少し分かりやすくした資料が欲しい。

この検討会で重要なことは何か。担当部局としてはまず考えることは所管財産をきちっと活用すること。しかし行政経営の観点からは全部の施設を維持することはできない。いろんなアイデアをだすのは検討会として大事。

指標は重要な項目と不要な項目が混じっているので、もう1回たたき台を持ってきてもらい、原案について意見をもらうのが妥当。住民の側から見て重要な指標、行政としてリスクをとれないという観点で引っかかる指標もある。民間で活用できる指標もある。整理をしないとこの場での判断は難しい。今は意見をいろいろ出していただくのが大事と考える。

委員

一般市民から見た時に実態をわかりやすく整理して見せられる資料がほしい。施設に利用価値があると見せたほうがいい。新穂の災害に抜本的な改修をするには費用がどのくらい必要で、クアテルメ佐渡は利用者層が限定されているなどの情報。この先施設を維持していくためにどれだけ金がかかるか、半径1 km以内でどれくらい利用していて、統廃合していたらどうなるか。耐震性に問題は無いのか。借地かどうか。部屋がどれくらいあるか。こうした利用価値について、指標の見方を示してほしい。

委員

①利用者数は重点項目である。5年前から4割も利用者が減少している。次に⑤市民の負担が少なくなるよう選んでほしい。⑨集客範囲も重要。羽茂の温泉は相川や高千の住民にとっては気軽に行けない場所。島内全域から全般的に集められることが必要。この3つ。ハード面では耐用年数。まずどのくらい持つかが課題。もう一つは付帯価値、避難所等になるかどうか。この5つの項目がポイントではないか。

委員

総括して南線沿線であれば畑野に1つ、本線に1つの施設があると望ましい。湧上は昔からの温泉で泉質に定評があり、廃止はもったいない。佐渡市が2施設を残す方針なら湧上温泉は別の運用体制を検討したい。ビューさわたと松泉閣は指標における評価が高く、残すなら松泉閣とビューさわたになる。湧上温泉は大事な温泉と思うが、先ほどのような考え方で進めてほしい。

委員

前述の委員と同じ考え。新穂湧上温泉は民間でどなたかが大事に生かしてくれればと思う。ビューさわたは近隣で民泊やゲストハウスもあり、残すべきと思う。

委員

市民感覚として湧上は地域おこし協力隊も呼んでいて、活動が盛んな地域であると認識している。湧上は名湯であると思うが、指標で見ると2箇所を残すべきと考える。残さない施設をどうやって生かすかという話を進めていきたい。また指標のウエイト付けを整理集約し、誰が見ても分かりやすい資料としたい。

## 公開用

委員	湯上温泉は薬効がよく素晴らしいが、廃止せず民間での多用途利用を含めて残すよう考えていきたい。
委員	廃止という言葉は使わず、活用方法を変えるという転用という言い方でよいのでは。
事務局	羽茂のクアテルメ佐渡も活用方法を検討するが、南部地域では温泉が隣接し存在しており入浴の代替も可能と考える。
委員	どういう風に地域の声をまとめていくのか。過去の例からして、理屈がどうあれ廃止するとなれば反対の声は出る。いかにして市民説明の際に、納得してもらえる根拠を示せるかが重要である。施設を2つ残す。残さない2つも活用策を考えていく、という結論を導くため、もう少し市民感覚で納得してもらえる資料を作ってほしい。次回に向けて市民説明に耐えうるようなものを作成してほしい。そのうえで委員が市民目線で検討したい。
委員	例えば入浴施設を4つ全部維持するというシナリオ、1つ廃止して3つ維持するシナリオ、2つ廃止して2つ維持のシナリオ、それぞれで月いくら支出が必要になるのか数値でシミュレートしてほしい。
事務局	試算してみる。
委員	シナリオは3つでいいか。
委員	よい。
事務局	施設運営者に対し、今後経営上の問題点などの意見も聞きたい。 いつごろ実施できるか未定だが検討したい。
	<b>2) 次回検討会の日程について</b> (省略)
	<b>3) その他</b> 検討会の公開に関して
	① 今後の公開方針
	② 公開時の委員個人の実名表示について
事務局	今回の検討会は非公開にしたが、今後は公開する形に戻したいがよろしいか。また現況では議事録に発言者の実名を入れているが現況のまま公開してよいか。
委員	実名はやめてほしい。個人攻撃に繋がる。また傍聴者に議員がいると思うように発言できない。会議も非公開で、公表時には実名は伏せて欲しい。 施設名も伏せたほうがいい。委員の発言で存廃が決まるわけでないといえ反響が大きい。施設名から個人を推測されないよう、表記しないほうがいい。

## 公開用

委員	議員から発言内容を注視されていると感じている。委員名の公表は厳しい。
委員	私は委員名を公表して構わない。
委員	今までの会議はメディアや議員が来ていて、傍聴者を気にしてどうしても思い切った発言ができなかった。今日のような形が話しやすい。
委員	委員のうち3人が実名表示に反対なので、個人を特定できないよう、委員名を「A・B・C・D」等の表記で公表し、施設名はなるべく公開していく。検討会には透明性の確保が必要。
事務局	検討会自体の公開については、会議内容によって公開非公開を決めたい。公開してしまうことでかえって悪影響が出る可能性もある。
	今日の会議の概要を明日には公開するよう上から指示を受けた。事務局案を早急に送るので確認して欲しい。
	(一同了解)
	<b>3 閉会</b>
	(15:45)